

幸 手 市

(1) 市町の特徴ある生涯学習の取組について

○幸手市郷土資料館の開設

15年に渡る市史編さん事業の成果を活用し、資料の展示公開や講座の開催をはじめ、ボランティアの育成、情報発信など、市民の地域学習や社会教育の拠点となる施設として「幸手市郷土資料館」が10月23日（火）にオープン。

歴史展示室では、縄文時代から現代までの幸手の歴史とゆかりの人物について、資料とパネルで解説。民具資料展示室では、市民から寄贈された民具などを展示。また、幸手の手仕事を楽しく学ぶ、機織の体験事業を通じて、市民ボランティアを養成する。



幸手市郷土資料館



歴史展示室

○ベナン共和国のホストタウンとして登録

7月24日（火）駐日ベナン共和国大使館において、幸手市長と駐日ベナン共和国特命全権大使とが「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした交流事業の合意書」を締結。8月31日（金）には、ベナン共和国のホストタウンとして登録された。今後、ベナン共和国との交流事業を計画・実施し、文化・スポーツ振興を図る。



「交流事業の合意書」を締結



市民まつりにご参加いただきました

○幸手市還暦式の開催

定年退職などにより第二の人生を迎える市民に、セカンドライフを有意義に過ごしていただくための情報提供を行い、生涯学習の進展や地域の活性化を推進するため、「幸手市還暦式—3回目の成人式—」を開催。今年度は11月23日（祝・金）に開催し、俳優の金田賢一氏を招いての講演会や地域で活動する市民団体の社会参加事例発表、オペラ歌手・翠千賀氏による歌とトークを実施。また、会場内では、市内で活動している社会教育活動団体等の紹介もあり、仲間づくりや地域貢献、生涯学習に役立つさまざまな情報提供を行った。



金田賢一氏による講演

(2) 生涯学習活動の支援のための施策について

○幸手市文化祭

市民の文化活動の成果を発表する機会を設け、市民の文化交流を図ることを目的として、毎年文化の日前後の土日に開催。他に将棋大会やお話会等を開催。

参加者：展示1, 865名、発表1, 091名。来場者9, 846人。



展示の部
アスカル幸手
メインアリーナ



発表の部
アスカル幸手
さくらホール

○ランチタイムコンサート

ウェルス幸手のエントランスにて、市内等で活動している団体の演奏会を開催。

○セカンドブックスタート

新小学1年生に、読書機会の充実を図るために本を贈呈している。対象者352名。

(3) 家庭・地域の教育力の向上のための施策について

○家庭教育学級

市内幼稚園、小中学校PTA等の団体が、年間を通じて相互の交流、仲間づくりを行いながら家庭教育の学習に取り組む。

実施団体11団体。(小学校4、幼稚園6、他団体1)

○幸手すこやか子育て講座

小学校入学前の保護者を対象とした子育てに関する講座。未就学児健康診断と同時開催。埼玉県家庭教育アドバイザーによる親の学習プログラムを活用。実施校：小学校9校。



グループでの話し合いの様子



保育ボランティアによる託児の様子

○放課後子供教室

放課後の時間に地域の協力により、スポーツ、文化などの体験の場を設けるため、吉田小学校にて卓球、和太鼓の2教室を実施。参加者：卓球23名、和太鼓19名。

○子ども大学さって

子どもが地域の専門家から知的好奇心を育む講義を受ける。日本保健医療大学、社団法人幸手青年会議所等の協力を得て全5回実施。

参加者：小学4年～6年12名。

講座内容：新聞づくり①②、食育、若年性認知症、コミュニケーション

○さって子どもセンター

青少年体験活動の場の提供、情報紙の作成を行う。年間テーマ「乗り物」に関連した施設の紹介や、夏休みバスツアー、冬休み体験教室を開催。

